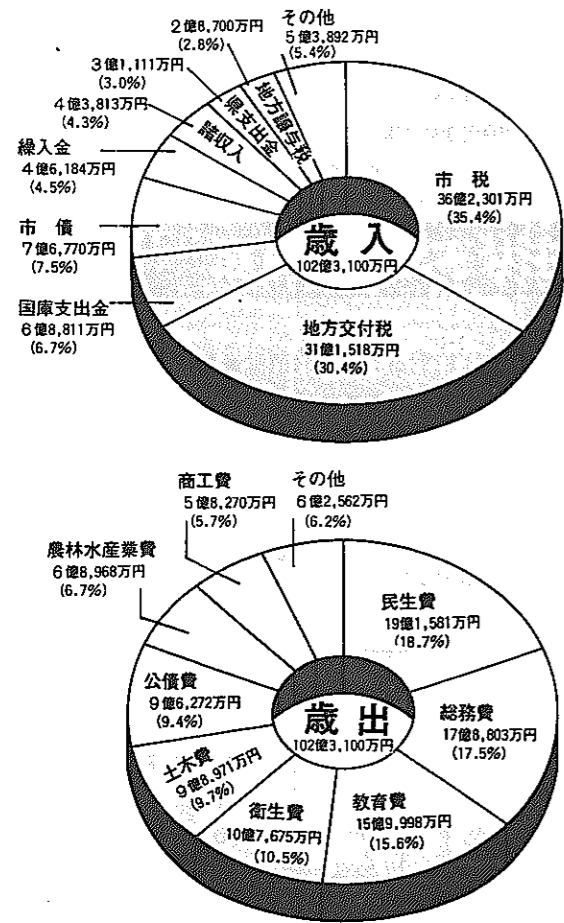
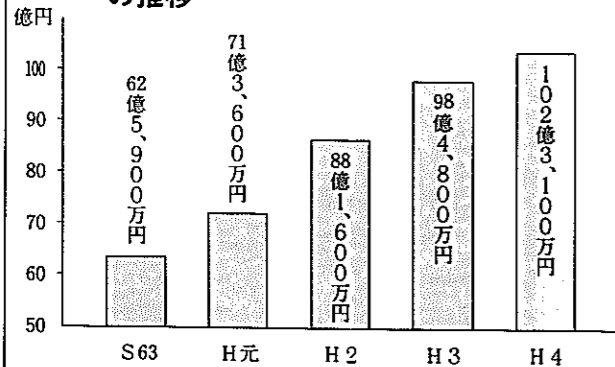


一般会計予算の内訳



一般会計当初予算の推移



今、地方の時代といわれる中で、特色ある自主的な地域づくりが求められています。創意と工夫をこらした個性豊かなまちづくりを進める中で、市民の期待にこたえるよう、二十一世紀に向けた着実な市勢の発展に努力します。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

一般会計当初予算は
102億3,100万円

**堅実予算で
前年度比3.9%増**

平成四年度の一般会計当初予算は百二億三千百万円でスタートします。前年度当初予算に比べ、伸び率で三・九%、金額では三億八千三百万円の増加です。当初予算としては初めて百億円を超える規模となっています。歳出では普通建設事業費に二十四億五千二百万円を計上しました。(仮称)白根ふるさと村建設事業費、白根北中学校の体育館・プール建設費、道路整備費などです。前年度に比べて五億九千五百万円(一九・五%)

減少していますが、これは前年度の総合公園建設事業、白根保育園建設事業がなくなったことによりです。また、新ごみ処理施設建設などのための衛生センター組合負担金として、八億六千六百万円を計上しました。今年度は国民健康保険特別会計に関する制度改正が行われ、これまで国庫負担金などで賄われていた人件費を一般会計で負担しなければならなくなりまし。さらに必要な事業に対する繰入金を加え、一般会計から国保会計への繰り出しは一億一千二百万円となっています。市債の償還に充てられる公債

**市税・交付税を
最大限の見積もりで**

歳入では市税収入を、前年度比七・〇%増の三十六億二千三百万円としました。そのうち個人市民税や固定資産税収入では増加を見込んでいますが、法人税割は景気の落ち込みから八・五%の減収を見込んでいます。地方交付税は三十一億一千五百万円を計上。前年度より六億五千二百万円(二六・五%)の

**健全財政で
個性豊かなまちづくりを**

本市では近年、白根総合公園や白根北中学校、白根保育園などの大規模建設事業に相次いで取り組んできました。そのため平成三年度末の市債残高は約七十七億円となる見込みで、引き続き厳しい財政状況に置かれています。このことから今年度当初予算は、健全財政の確保に努めることを基本として編成。社会経済情勢の推移に即応しながら、限られた財源を重点的、効率的に配分しています。



- (仮称)白根ふるさと村を建設
- 北中学校体育施設を整備
- 都市計画基本構想を作成
- 県展白根展を開催

田園都市白根の
個性ある創造を目指して

3月5日、平成4年第1回市議会定例会が招集されました。滝沢市長は施政方針演説の中で「今年度は21世紀に向けたまちづくりの礎を築く節目の年。市民の幸せと本市の発展のため、総力を結集して、より一層の努力をしたい」と決意を述べ、市民の皆さんに理解と協力を求めました。平成4年度一般会計当初予算は102億3,100万円で、前年度当初予算に比べると3.9%の増加となっています。予算と主な取り組みを3ページから9ページにわたり、お知らせします。

